



# 2024年3月期 第1四半期 決算説明資料

2023年8月8日

# 決算概要

売上高、営業利益とも前年度を上回った。為替影響を除く実質ベースで増収増益を確保し、過去最高業績を更新。

各地域で需要が低迷する厳しい事業環境のなか、当社は、カーボンニュートラル・省エネに資する商品・サービスの提案強化、ソリューション事業の拡大、戦略的売価施策、変動費コストダウンや固定費削減により、収益力強化に努めた。

- ✓ 空調事業：中国・アジアで販売を拡大。日本・米州・欧州でも、堅調な市場を見極め、差別化商品・サービスの拡販に努め、増収増益。
- ✓ 化学事業：需要減速の影響を大きく受けるなか、半導体市場での拡販に努め、増益基調を維持。

第2四半期以降、事業環境は厳しさを増すが、重点テーマの取組みを加速し、変化に対応した施策を強化・拡充することで、年間計画（売上高4兆1,000億円、営業利益4,000億円）の達成をめざす。

(億円)	1Q実績		
	2022年度	2023年度	前年度比
<b>売上高</b>	9,678	<b>10,947</b>	113%
<b>営業利益</b>	1,079	<b>1,179</b>	109%
(利益率)	(11.1%)	<b>(10.8%)</b>	
<b>経常利益</b>	1,095	<b>1,148</b>	105%
(利益率)	(11.3%)	<b>(10.5%)</b>	
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	706	<b>803</b>	114%
(利益率)	(7.3%)	<b>(7.3%)</b>	

為替影響（対前年度）  
売上高 +360億円  
営業利益 +30億円

為替影響除く前年度比  
売上高 109%  
営業利益 106%

USドル/円	¥130	¥137
ユーロ/円	¥138	¥149
中国元/円	¥19.6	¥19.6

# 事業セグメント別実績

(億円)		1Q実績		
		2022年度	2023年度	前年度比
全社	売上高	9,678	<b>10,947</b>	113%
	営業利益 (利益率)	1,079 (11.1%)	<b>1,179</b> (10.8%)	109%
空調	売上高	8,893	<b>10,118</b>	114%
	営業利益 (利益率)	945 (10.6%)	<b>1,037</b> (10.2%)	110%
化学	売上高	639	<b>609</b>	95%
	営業利益 (利益率)	125 (19.6%)	<b>128</b> (21.0%)	102%
その他	売上高	146	<b>220</b>	151%
	営業利益 (利益率)	9 (5.9%)	<b>14</b> (6.4%)	165%

※冷凍・冷蔵事業、フィルタ事業は空調事業に含む。

# 営業利益増減分析-実績の対前年度比

(億円)

1,200

1,000

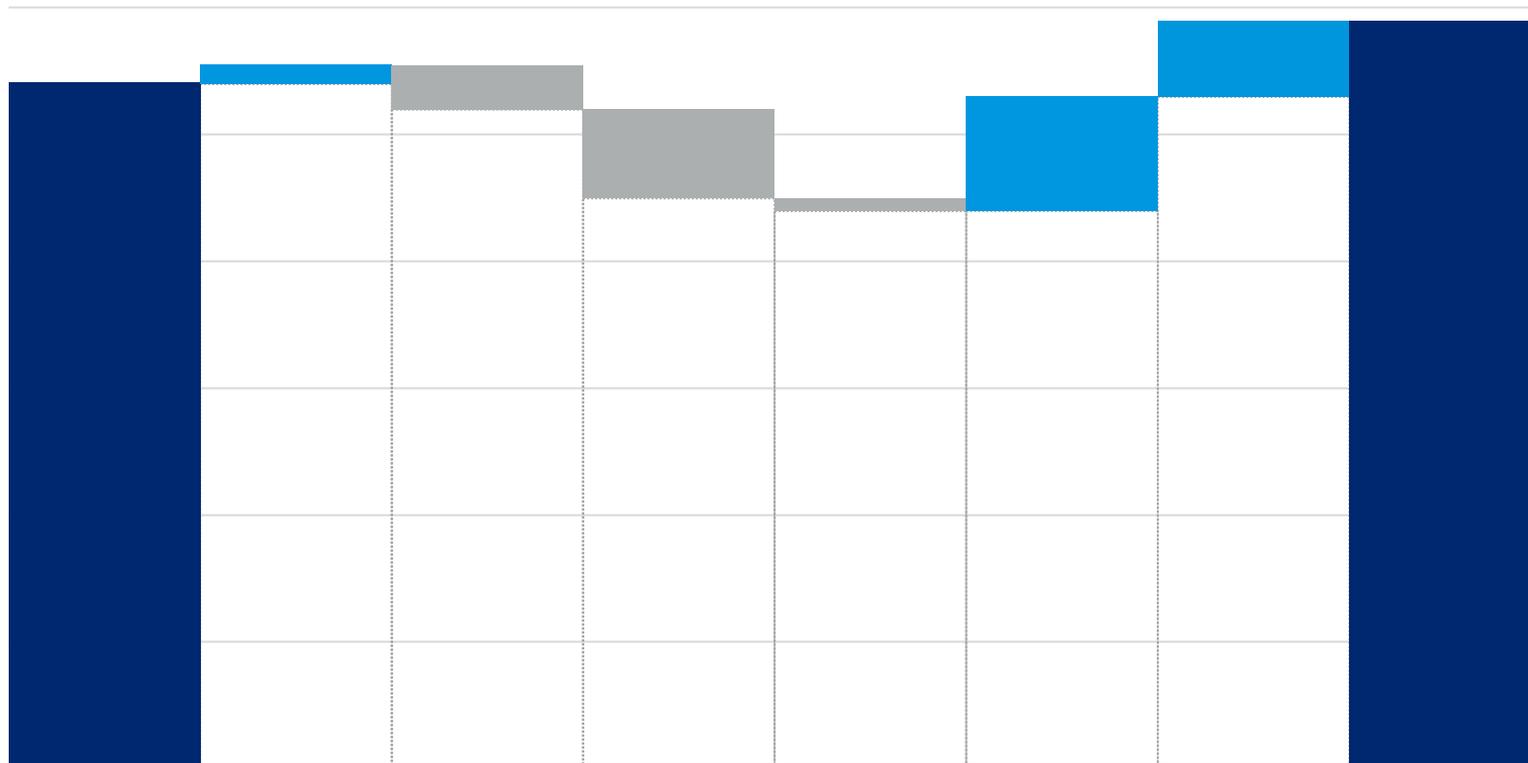
800

600

400

200

0



	2022年度 1Q実績	為替	原材料 (物流費含む)	固定費ほか	拡販	売価	円高の影響	2023年度 1Q実績
計	1,079	+30	▲70	▲140	▲20	+180	+120	1,179
空調	946	+19	▲89	▲130	+51	+125	+116	1,037
化学	125	+11	+16	▲8	▲72	+52	+3	128
その他	8	-	+3	▲2	+1	+3	+1	14

# 地域別売上高の推移-空調事業

※冷凍・冷蔵事業、フィルタ事業含む

※パーセンテージは前年度比

(億円)	2019年度1Q		2020年度1Q		2021年度1Q		2022年度1Q		2023年度1Q	
	<b>日本</b>	112%	1,274	91%	1,163	117%	1,364	97%	1,323	<b>106%</b>
<b>欧州</b>	107%	938	93%	874	157%	1,370	112%	1,538	<b>114%</b>	<b>1,749</b>
<b>中国</b>	96%	1,124	79%	891	146%	1,300	95%	1,233	<b>118%</b>	<b>1,460</b>
<b>米州</b>	107%	1,807	92%	1,661	133%	2,216	147%	3,251	<b>116%</b>	<b>3,781</b>
<b>アジア</b>	107%	828	64%	532	138%	735	143%	1,050	<b>112%</b>	<b>1,174</b>
<b>オセアニア</b>	92%	169	97%	163	138%	225	129%	291	<b>100%</b>	<b>290</b>
<b>中近東</b>	91%	97	75%	72	186%	134	136%	182	<b>130%</b>	<b>236</b>
<b>アフリカ</b>	82%	16	71%	11	115%	13	194%	25	<b>117%</b>	<b>29</b>
<b>計</b>	105%	6,253	86%	5,367	137%	7,356	121%	8,893	<b>114%</b>	<b>10,118</b>
海外売上高比		80%		78%		81%		85%		<b>86%</b>
USドル/円		¥110		¥108		¥110		¥130		<b>¥137</b>
ユーロ/円		¥123		¥118		¥132		¥138		<b>¥149</b>
中国元/円		¥16.1		¥15.2		¥17.0		¥19.6		<b>¥19.6</b>

# 地域別売上高の推移-化学事業

※パーセンテージは前年度比

(億円)	2019年度1Q		2020年度1Q		2021年度1Q		2022年度1Q		2023年度1Q	
	<b>日本</b>	103%	126	71%	90	147%	132	128%	170	<b>94%</b>
<b>米州</b>	95%	108	71%	77	135%	103	131%	136	<b>78%</b>	<b>107</b>
<b>中国</b>	90%	88	105%	93	133%	123	123%	151	<b>86%</b>	<b>130</b>
<b>アジア</b>	87%	53	88%	47	127%	60	132%	78	<b>99%</b>	<b>77</b>
<b>欧州</b>	63%	64	76%	48	173%	84	121%	101	<b>132%</b>	<b>134</b>
<b>その他</b>	81%	3	40%	1	179%	2	139%	3	<b>55%</b>	<b>2</b>
<b>計</b>	88%	443	80%	356	142%	504	127%	639	<b>95%</b>	<b>609</b>
海外売上高比		71%		75%		74%		73%		74%
USドル/円		¥110		¥108		¥110		¥130		¥137
ユーロ/円		¥123		¥118		¥132		¥138		¥149
中国元/円		¥16.1		¥15.2		¥17.0		¥19.6		¥19.6

# 事業/地域別概況-空調事業

## 日本

物価高騰による消費マインドの低下、景気回復の遅れなどにより、住宅用・業務用ともに需要が停滞。当社は、差別化商品の拡販に加え、売価施策の効果を取り込み、売上高は前年度を上回った。

- ✓ 住宅用：『うるさらX』など差別化商品の販売を強化。電気料金の上昇により高まる省エネニーズを捉え、高・中級機種の販売割合が向上した。
- ✓ 業務用：高い省エネ性と優れた施工性を併せ持つ「FIVESTAR ZEAS」、『machiマルチ』を拡販。空気清浄機能・除菌機能を付加する『UVストリーマ除菌ユニット』などを組み合わせたシステム提案に注力。

前年度比 (台数ベース)		1Q 実績
住宅用	業界	95%
	当社	90%
業務用	業界	100%
	当社	96%
アプライド	業界	114%
	当社	115%

※アプライドは売上高ベース

# 事業/地域別概況-空調事業

## 米州

住宅需要の停滞や流通在庫調整などにより、厳しい市場環境。当社は、販売力の強化、環境対応商品の拡販に加え、売価施策の効果も取り込み、売上高は前年度を上回った。

- ✓ 住宅用ユニタリー：環境プレミアム商品「Fit」を大きく拡販したが、長引くインフレや金利上昇による業界需要の伸びの停滞、流通在庫抑制の動きにより、前年度を下回った。
- ✓ ダクトレス：需要が比較的堅調な業務用市場で、強化した販売網を活用し、VRVを拡販。RA/SKYは、流通在庫抑制の動きにより、前年度を下回った。
- ✓ アプライド：エアハンドリングユニット、チラーなど機器の拡販に加え、サービス事業でも販売を伸ばし、売上高は前年度を大きく上回った。

前年度比 (台数ベース)		1Q 実績
住宅用ユニタリー		73%
ダクトレス	RA/SKY	70%
	VRV	101%
アプライド		154%

※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

# 事業/地域別概況-空調事業

## 中国

ゼロコロナ政策が解除され、生産・販売活動を3年ぶりに全面的に展開。不動産市況の回復が遅れているなか、住宅用・業務用・アプライドとともに販売は大きく伸び、売上高は前年度を大きく上回った。営業利益は、高付加価値商品の拡販、コストダウンの取組みにより、高水準を維持。

- ✓ 住宅用市場：ユーザーダイレクトの小売販売に加え、ショールームを活用したライブ放送、Web広告、SNSなど、オンラインを活用した当社独自の販売活動が売上拡大に貢献。空調・換気・ヒートポンプ床暖房に、省エネ・空気質提案などのソリューションサービスを組み合わせた住宅用マルチエアコンの新シリーズ「Daikin Care中央空気システム」を投入し、顧客ニーズに対応。
- ✓ 業務用市場：ゼロコロナ政策により中断していた物件への納入が再開し、販売が伸長。カーボンニュートラル政策の推進による政府物件・工場・グリーンビルなどの市場の伸びを受けて、省エネ性の高い新商品を投入。
- ✓ アプライド市場：インフラ関連・半導体関連など成長分野に資源を投入したことに加え、保守・メンテナンス事業を強化。

前年度比 (現地通貨ベース)	1Q 実績
住宅用	124%
業務用	128%
アプライド	107%

# 事業/地域別概況-空調事業

## 欧州・中近東・アフリカ

インフレ率の高止まりに対する金融引き締め政策の継続により景気が減速する厳しい事業環境。当社は、ヒートポンプ暖房の需要が一時的に減少するなか、環境・省エネを切り口に、業務用・アプライドで販売を拡大し、地域全体の売上高は前年度を上回った。

- ✓ 住宅用：気温上昇もあり、フランス・スペインなどで販売を伸ばしたが、景気減速による消費マインドの低下の影響を大きく受けた。
- ✓ 業務用：スペックイン活動の徹底により、オフィスや店舗等の省エネニーズを取り込み、販売を拡大。
- ✓ 暖房事業：各国政府のグリーンディール政策を背景に、ヒートポンプ式温水暖房機器の需要は引き続き拡大基調。しかし、第1四半期は、ガス価格の下落やイタリアの補助金制度の変更の影響を大きく受けた。
- ✓ アプライド：R32小型INVチラーなど環境対応商品の販売を拡大。
- ✓ 冷凍・冷蔵事業：スーパーマーケットの投資抑制により、厳しい事業環境が継続。

前年度比 (台数ベース)		1Q 実績
住宅用		87%
業務用	SKY	104%
	VRV	102%
H/P暖房		88%
アプライド		119%
冷凍・冷蔵		77%

※住宅用・業務用・H/P暖房は欧州のみ

※アプライド、冷凍・冷蔵は売上高(現地通貨)ベース

# 事業/地域別概況-空調事業

## アジア・オセアニア

インフレに伴う消費低迷、インドでの天候不順など厳しい事業環境のなか、販売店の開発・支援に努めたことにより、地域全体の売上高は前年度を上回った。

- ✓ 住宅用：新規店の開発、オンラインを活用した販売店支援、インバータ機の普及促進に注力。気温上昇の追い風もあり、インドネシア・タイなどで販売が拡大。インドでは、冷夏により需要が伸び悩んだが、これまで拡充してきた販売網を活用し、拡販。
- ✓ 業務用：きめ細かな販売店支援により、回復基調にある需要を確実に受注につなげ、インド・タイを中心に拡販。
- ✓ アプライド：機器の拡販に加え、保守・メンテナンスなどサービス事業に注力。

■売上高上位国の前年度比（現地通貨ベース）

オーストラリア：102% インド：120% ベトナム：107%  
マレーシア：103% インドネシア：123% タイ：130%

前年度比 (台数ベース)		<b>1Q 実績</b>
住宅用		<b>104%</b>
業務用	SKY	<b>108%</b>
	VRV	<b>119%</b>
アプライド		<b>151%</b>

※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

# 事業/地域別概況-化学事業

半導体プロセス材料向けや自動車分野、化成品での需要減少により、売上高は前年度を下回った。

- ✓ フルオロカーボンガス：需要が比較的堅調であったことに加え、売価施策の効果も取り込み、前年度を大きく上回った。
- ✓ 樹脂・ゴム
  - フッ素樹脂：半導体製造装置向けの販売は好調に推移したが、LANケーブル向けなど情報通信分野で販売が減少し、前年度並み。
  - フッ素ゴム：自動車分野の需要減速により、前年度を下回った。
- ✓ 化成品ほか：エッチング剤、表面防汚コーティング剤、撥水撥油剤の需要が落ち込み、前年度を下回った。

前年度比 (売上高ベース)	1Q 実績
合計	95%
ガス	151%
樹脂・ゴム	100%
化成品ほか	72%

# 事業/地域別概況-フィルタ事業

米国で低収益事業からの撤退を進めたことによる販売減が影響し、売上高は前年度を下回った。

- ✓ エアフィルタ：需要が堅調に推移するなか、米国・欧州・アジアで、病院・製薬・データセンター市場向けに高機能フィルタの販売が伸長。日本で、感染症対策商材の需要が一巡するなか、半導体市場向けに拡販。
- ✓ P&I(※)：アフターサービス事業へのリソースのシフトなど事業体質の改善に努めた。

※P&I・・・ガスタービン、大規模プラント等の業務用集塵システム

# 設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)	2022年度		2023年度	
	1Q実績	年間実績	1Q実績	年間計画
設備投資	439	2,503	790	3,150
減価償却費	331	1,427	392	1,700
研究開発費	232	1,022	302	1,150



### **予測に関する注意事項**

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその確実性・完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願い致します。本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。